

令和7年度

新開小学校
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- 基礎基本の定着とそれを活用し、表現する力の育成
- 主体的・対話的で深い学びの実践

校長

西山稔江

学力向上推進員

元木伸江

【各校の取組状況の把握について】

管理職による授業参観や教員からの報告等、様々な機会を捉え、取組状況の把握を行う。

◎次の（１）～（３）をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

（１）知識・技能の習得

児童生徒の状況（○よさ・●課題）	具体的目標（目指す子供の姿）	具体的方策（教員の取組）	中間期の見直し	達成状況（評価）	次年度における改善事項
○課題に真面目に取り組む、課題解決に向けて努力する習慣が身に付きつつある。 ●問いを読み取ったり、既習の知識と関連づけたりすることに課題がある。	・語彙数を増やし、正確に聞く・読む・書く・話す・計算することができる。 ・習得した知識を、他の単元や学習の場面で関連付けたり、活用したりすることができる。	・朝の活動や授業の導入部・家庭学習を利用して、計算や漢字ローマ字の問題に繰り返し取り組ませたりミニテストを行ったりする。 ・授業の中で発問を工夫し、習得知識を関連付けたり活用したりすることができるようにする。			

（２）思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況（○よさ・●課題）	具体的目標（目指す子供の姿）	具体的方策（教員の取組）	中間期の見直し	達成状況（評価）	次年度における改善事項
○自分の考えをまとめ、発表し合う習慣が身に付きつつある。 ●課題に応じて、必要な情報等を取り入れたり、自分の考えまとめたり、複数の考えから新しい考えを創造したりすることに課題がある。	・課題解決に主体的に取り組む、根拠や理由をあげて分かりやすく自分の考えをまとめ表現することができる。 ・自分の考えと比較しながら友達と話し合い、互いに考えを深め合ったり表現したりすることができる。	・「徳島版読解力を構成する5つの力」の育成を意識しながら授業を実践する。 ・ホワイトボードやICT、付箋等を効果的に活用したり学習形態を工夫したりしながら発表や話し合い活動を行っていく。			

（３）主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況（○よさ・●課題）	具体的目標（目指す子供の姿）	具体的方策（教員の取組）	中間期の見直し	達成状況（評価）	次年度における改善事項
○授業中の課題に真面目に取り組むことができる。また、興味のある学習内容には積極的に取り組むことができる。 ●不得意な学習内容に対して、自分で計画を立てて粘り強く取り組むことに課題がある。	・自分のよさを高め、自信をもって様々なことに挑戦することができる。 ・自分の学習の状況をしっかりと振り返り、自らの課題を解決できるよう計画を立て、実践することができる。	・学校全体でポジティブな行動支援に取り組む。 ・毎時間「めあて」と「ふりかえり」の時間をしっかり取る。			